鹿市医郷壇

485 樋口 一風 選

兼題「祝（ゆえ）」

天

伊敷支部　**谷山五郎猫**

三度目は結婚祝も貰ろ難し

（唱）またやち揶揄っ出た熨斗袋

なぜ三回目の結婚をしたのか解りませんが、お祝いは何回あっても良い、というものの三度目の祝儀とは、複雑な気持ちになります。

「女房と畳は、新しい方が良い」と失礼な諺もあるので、羨ましく思っている友人もいるのではないでしょうか。でもなんと言われても友人には惚気でも言って、堂々と頂いておきましょう。

三度目の結婚祝いとは発想が面白かったです。流石に三度も結婚祝いを貰うのには気がひけることでしょう。穿ちの句で流れもよいです。

地

清滝支部　**鮫島爺児医**

百歳く越えた祖父ん葬式きゃ祝いなっ

（唱）大往生じゃち孫やあ曽孫

最近は人生百年時代と言われていますが、それでも百歳超の長寿はお目出たいものです。

思う存分生きて、悔いはなかったことと思います。だから血縁の人々も悲しみよりも満足感で故人を送ることが出来たのでしょう。

大往生と言っても、亡くなるとやはり悲しいものです。一人になると泣きたくなります。ご冥福を祈りましょう。

人

紫南支部　**二軒茶屋電停**

プロポーズとんとん拍子で祝いなっ

（唱）唄たい舞たい賑だ結婚式

余程相性が良かったのでしょうか、ひと目見てビビッと来た様です。それから先は一気呵成で結婚式まで漕ぎつけました。両家とも反対をする人は一人もありません。賑やかに皆さんの祝福を受けた結婚式になりました。

「とんとん拍子」が良かった。何も懸念することの無い結婚式の様子が偲ばれます。

五客一席　上町支部　**吉野なでしこ**

久か振い気も若こなった結婚祝

（唱）昔しゅ思め出っ乾杯ゆ歌っ

五客二席　**醤油屋孫一**

誕生日誰も知たんじ祝も無し

（唱）コップ片手い寂んね独身

五客三席　**印南 本作**

卒業の祝ずい止めたコロナ騒動

（唱）親友達と別れも言えじ

五客四席　**霧島 木林**

け忘れたメモい祝辞が狼狽ろっ

（唱）冷や汗を掻っ話しゃ大概大概

五客五席　清滝支部　**鮫島爺児医**

退院の祝じゃち友達が焼酎と来っ

（唱）医者が怖じで飲んだた一杯

秀 逸

清滝支部　**鮫島爺児医**

七五三子供ま宝ち弾ん祝

観光船乗っ時きゃ祝で地獄きなっ

爺ん喜寿い子孫十人嬉し祝

新築の祝と一緒き地震が訪っ

大かアラ釣った祝いな焼酎が合っ

宮参い良か着物を着っ誕生祝

上町支部　**吉野なでしこ**

始めっで鯱張っ歩っ宮参い

伊敷支部　**谷山五郎猫**

三年後祝をすっどち新入生

冬の爺が三度目もさせた快気祝

醤油屋孫一

祝じゃっち祝儀を準備たが中止しなっ

祝じゃって涙を零べっ卒業式

薩摩郷句鑑賞　127

薩摩狂句暦　三條風雲児著から

まだすばと鶏ゆむしっちょい合格祝

久永飲ん平

今日は、高校入試の合格者発表の日である。文字どおり悲喜こもごもというところであろう。この句の場合は、幸い希望する学校に、子供が合格したのである。鶏をつぶして、合格祝いをしようというわけだが、まだ「すばと」（あばれる）鶏の「羽毛むしい」が始まったのである。嬉しさに気が急く様子が、ユーモラスに描かれた句。

彼岸団子重箱ん蓋を持っ上げっ

加治佐谷山犬

春の彼岸には、嶽参い（たけめい）をするところや、山や海岸に出かける地方もある。

また重箱に料理をつめてお墓参りをしたり、子供の無事な成長を祈って、神社や寺に物参い（ものめい）をするところもあるようである。

彼岸団子と言っても、餅を搗くところもあるし、米の粉で作った団子、麦の団子などいろいろあるが、それを持って実家を訪れたり、墓参りをしたりする。重箱の蓋が持ち上がるほど詰めていくあたり、田舎の純朴さがよく出ている。

薩摩郷句募集

◎**6号**
題　吟　「嘘（うそ）」
締　切　令和2年5月8日㈮

◎**7号**
題　吟　「土産（みやげ）」
締　切　令和2年6月5日㈮

◇**選者　樋口 一風**

◇漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあてくださいます。

◇応募先　〒八九二―〇八四六
鹿児島市加治屋町三番十号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL　〇九九―二二六―三七三七
FAX　〇九九―二二五―六〇九九
E-mail：ihou@city.kagoshima.med.or.jp